SONY

3-046-451-**03** (1)

パーソナル
オーディオシステム

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ZS-2000

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4〜7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

❶ **電源を切る**
❷ **電源プラグをコンセントから抜く**
❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止

接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く　強制

目次

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。



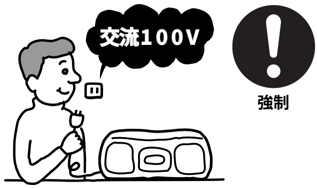
湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。



ガス管にアース線やアンテナをつながない

火災や爆発の原因となります。



ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

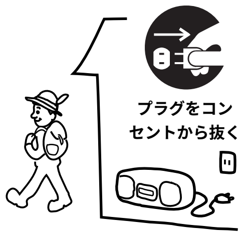
内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを折りたたんでください。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



⚠注意 つづき

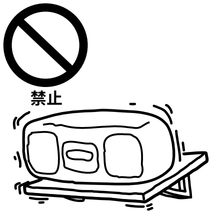
お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。



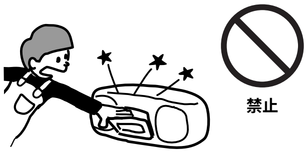
大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



幼児の手の届かない場所に置く

CDトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ•破裂•発熱•発火•誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と−を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

アルカリ電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

- アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときには、医師に相談してください。

⚠注意

- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときは取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

この取扱説明書について

本書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。

「各部のなまえ」(42〜45ページ)も併せてご覧ください。

ご注意

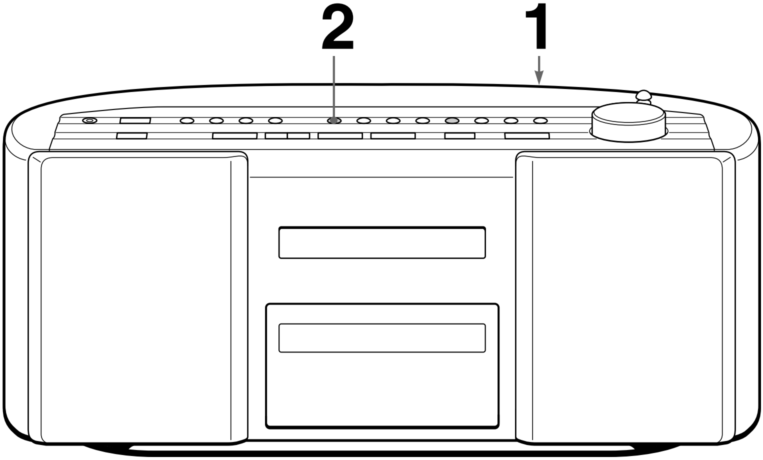
本機は電源コードをつないでお使いください。電池でお使いになることはできません。

初めてお使いになるときや、長い間お使いにならなかったときは、本体内蔵のメモリー用電源を充電してください。電源コードをつないでから、約1時間充電します(その間も本機をお使いになれます)。

その後、電源コードを抜く場合は、本体の電源を切ってから抜いてください。充電してあると、時計やタイマーなどの内容は約30分間保持されます。記憶させた内容が消えた場合、それぞれ設定しなおしてください。

自動で時計を合わせる

本機は電波時計機能を内蔵しています。郵政省（通信総合研究所）が運営する正確な時刻情報（時、分、秒）をのせた標準電波を受信することにより、正確な時刻を表示することができます。標準電波は福島県田村郡のおおたかどや山から発信されています。受信状態がよければ、沖縄を除くほぼ日本全国で受信することができます。

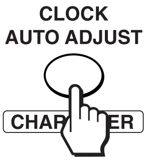


準備➡「接続する」（31〜33ページ）をご覧ください。

1

アンテナユニットをつなぐ（31ページ参照）。

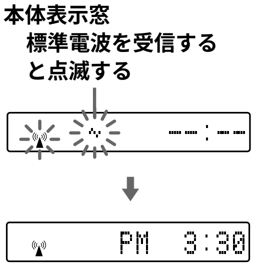
2



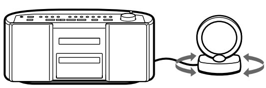
電源を切った状態で、CLOCK（クロック） AUTO（オート） ADJUST（アジャスト）ボタンを押す。

表示窓にが点滅しているかどうか確認します。点滅していないときは、もう一度CLOCK AUTO ADJUSTボタンを押します。

標準電波を正確に受信して自動時計合わせが終わると、が点滅から点灯に変わります。



もし表示窓に「」が点滅せず、が点滅し続けているときは、標準電波を正確に受信していません。アンテナユニットの向きを変えて、正確に受信できる方向をさがしてください。



ちょっと一言

時計合わせをしていなくても本機をお使いいただくことができます。

ご注意

- 本機の電源が入っているときは電波時計機能は働きません。また電波時計機能が働いているときに本機を動作させると、標準電波受信は中断されます。
- 標準電波が受信しにくくなるため、アンテナユニットを次のような場所には置かないでください。
  – テレビ、冷蔵庫、パソコンなどの電化製品、OA機器の近く
  – スチール机やスチール棚などスチール製品の上
  – 高圧線、架線の近く
  – 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きるところ
- 九州地区は送信所から離れているため標準電波を受信しにくい場合があります。
- 地形や建物の影響などによって受信しにくい場所があります。

約12分たっても標準電波を受信できないときは

表示窓にが表示されたままになります。その後、本機は1時間ごとに標準電波を受信しようとします。12時間たっても受信できないときは、が表示窓から消えます。その場合は、手動で時計合わせをしてください(24ページ参照)。

自動時計合わせを中止するには

CLOCK AUTO ADJUSTボタンを押して、表示窓のを消します。

自動時刻補正機能について

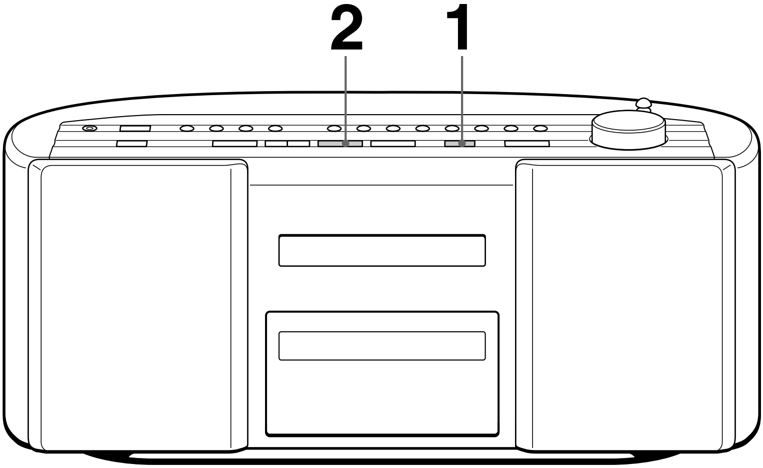
本機は電波時計機能を使って毎時自動的に標準電波を受信し、必要な場合は時刻補正を行います。自動時刻補正中はが点滅します。

表示窓にが表示されていないときは、電波時計機能は働いていませんのでご注意ください。

受信状態をよくするには

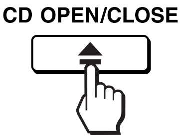
受信状態がよくないときは、アンテナユニットを窓のそばに置いてください。

CDを聞く



準備➡「接続する」(31〜33ページ)をご覧ください。

1

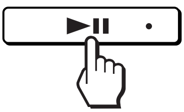


≜ CD OPEN/CLOSE（オープン/クローズ）ボタンを押して、CDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、CDトレイが出てきます。カチッと音がするまでCDをはめこんでください。

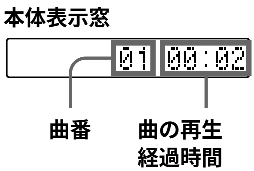


2

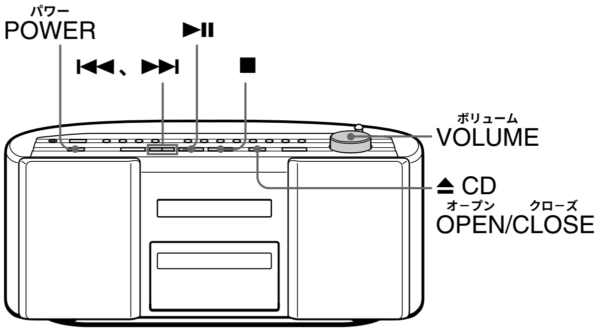


►IIボタンを押す。（リモコンでは►ボタンを押す。）

CDトレイが閉まり、再生が始まります。



その他の操作



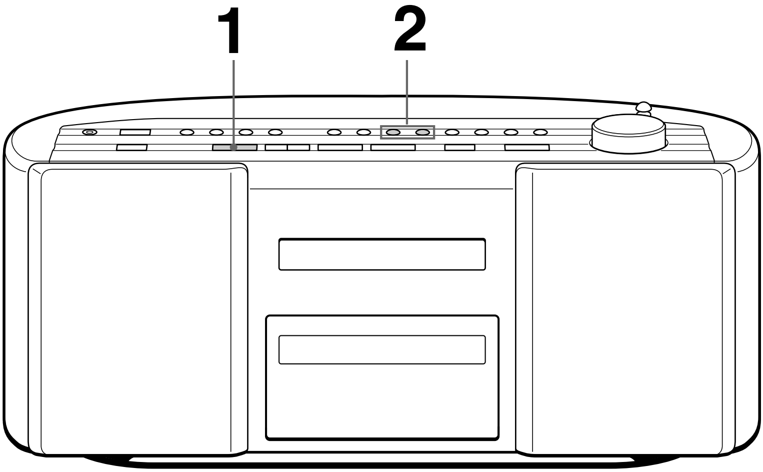
こんなときは	押すボタン/操作
音量を調節する	VOLUME（ボリューム）つまみを回す （VOL＋、－）
再生を止める	■
再生中に一時停止する	►II（II） もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す 前の曲へ戻す	I◄◄ 短くポンと押す。
次の曲へ進む	►►I 短くポンと押す。
CDを取り出す	≜ CD OPEN/CLOSE（オープン　クローズ）
電源を入/切する	POWER（パワー）

（　）内はリモコンのボタンです。

ちょっと一言

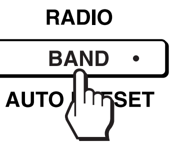
一度CDを入れておけば、次にCDを聞くときは►IIボタンを押すだけで電源が入り、再生を始めることができます。

ラジオを聞く



準備➡「接続する」(31〜33ページ)をご覧ください。

1



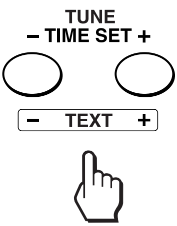
RADIO(ラジオ) BAND(バンド)•AUTO(オート) PRESET(プリセット)ボタンを押して、バンドを選ぶ。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、ボタンを押すごとに「FM1」→「FM2」→「AM」と変わります。

本体表示窓

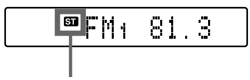


2



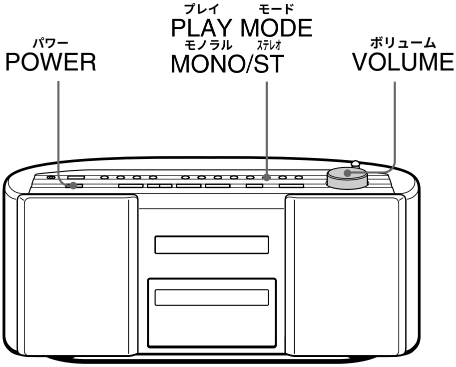
TUNE(チューン)•TIME(タイム) SET(セット) +または–ボタン(リモコンではTUNE(チューン) +または–ボタン)を押したままにし、表示窓の数字が動き始めたら指を離す。

放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、TUNE•TIME SET +または–ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。



FMステレオ受信のとき出る

その他の操作



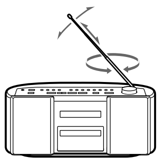
こんなときは	押すボタン
音量を調節する	VOLUMEつまみを回す(VOL＋、－)
電源を入/切する	POWER

(　)内はリモコンのボタンです。

受信状態をよくするには

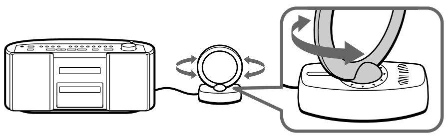
FM(TV1〜3ch)放送のとき

アンテナを伸ばし、向きを変える。



AM放送のとき

アンテナユニットのループアンテナ部分を、台座の印に合わせて少しずつ向きを変えて調整する。このとき台座を動かさないように注意してください。



それでも受信状態がよくならない場合は、屋外アンテナを接続してください(33ページ参照)。

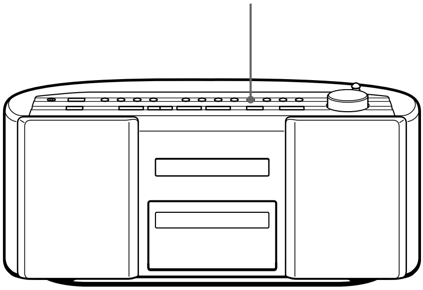
ちょっと一言

- FM1、FM2は同じ機能です。放送局を分けて記憶させるのに便利です(20ページ)。
- 本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。

  AM、TV1〜3chのステレオ放送はモノラルになります。
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、PLAY MODE•MONO/STボタン(リモコンではMODEボタン)を押して、表示窓に「Mono」を選択します。音はモノラルになります。
- 一度放送局を受信すれば、次にラジオを聞くときはRADIO BAND•AUTO PRESETボタンを押すだけで電源が入り、ラジオを聞くことができます。

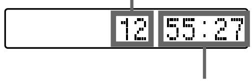
表示窓の見かた

表示窓で、CDの全曲数や全演奏時間、残りの曲数、残り時間などを調べることができます。



全曲数と全演奏時間を調べるには

停止中、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。



残り時間を調べるには

演奏中、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。

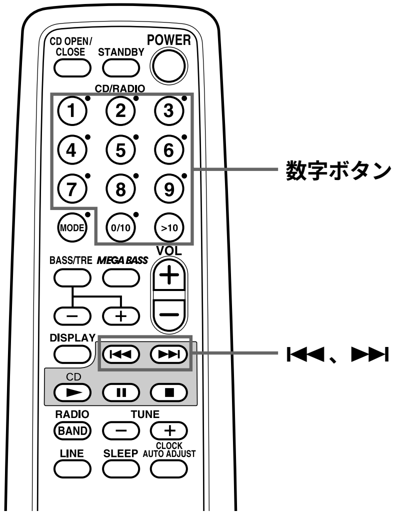
表示	押す回数
演奏中の曲番と曲の残り時間*	1回
CD全体の残りの曲数と残り時間	2回
演奏中の曲番と演奏経過時間（通常表示）	3回

* 21曲以降の曲では、演奏中の曲の残り時間は「– –:– –」と表示されます。

聞きたい曲を選ぶ

（ダイレクト選曲/サーチ）

リモコンの数字ボタンですぐに聞きたい曲の演奏を始めることができます。⏮、⏭ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともできます。



ご注意

ダイレクト選曲の場合は、表示窓に「SHUF」「PGM」が出ていたら、■ボタンを押して消します。

ちょっと一言

11曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタン（1〜0）を押します。

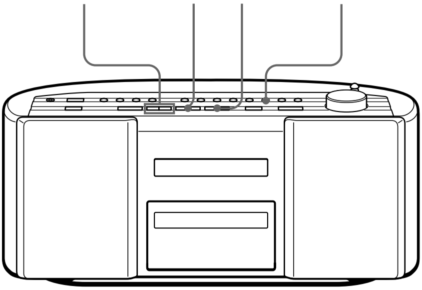
例：23曲目を選ぶときは、＞10→2→3の順に押します。

選びかた/探しかた	操作のしかた
曲番で直接選ぶ（ダイレクト選曲）	聞きたい曲番の数字ボタンを押す。
聞きながら探す（サーチ）	演奏中に⏮ または⏭ボタンを押したままにする。
表示窓の演奏時間を見ながら探す（高速サーチ）	一時停止中に⏮ または⏭ボタンを押したままにする。

CD

繰り返し聞く
（リピート演奏）

CDの全曲または1曲を繰り返し聞くことができます。
シャッフル演奏やプログラム演奏を繰り返すこともできます。



ご注意

1曲リピート、全曲リピートの場合は、表示窓に「SHUF」「PGM」が出ていたら、■ボタンを押して消します。

リモコンでは

- MODEボタンを使って「REP 1」「REP ALL」「REP SHUF」「REP PGM」を選びます。
- 「REP 1」を選んだときは、数字ボタンを使って曲番を選びます。

1　■ボタンを押す。

「CD」が表示されます。

2　次の操作をする。

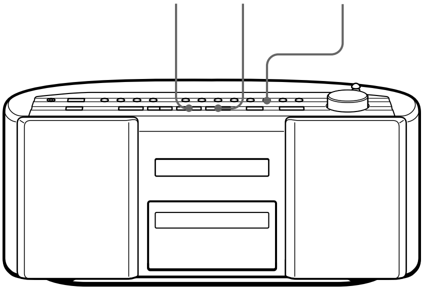
リピートの種類	操作
1曲だけ繰り返す	1 PLAY MODE•MONO/STボタンを押して「REP 1」を表示させる。 2 ⏮または⏭ボタンを押して曲番を選び、▶IIボタンを押す。
全曲を繰り返す	1 PLAY MODE•MONO/STボタンを押して「REP ALL」を表示させる。 2 ▶IIボタンを押す。
順不同に繰り返す	1 PLAY MODE•MONO/STボタンを押して「REP」「SHUF」を表示させる。 2 ▶IIボタンを押す。
プログラムした曲順で繰り返す	1 PLAY MODE•MONO/STボタンを押して「REP」「PGM」を表示させる。 2 曲順をプログラムする（19ページの手順3参照）。 3 ▶IIボタンを押す。

リピート演奏をやめるには

PLAY MODE•MONO/STボタンを押して「REP」表示を消します。

順不同に聞く
（シャッフル演奏）

CDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。



リモコンでは

1 ■を押す。
2 MODEボタンを押して「SHUF」を表示させる。
3 ▶を押す。

1 ■ボタンを押す。

「CD」が表示されます。

2 PLAY MODE•MONO/STボタンを押して「SHUF」を表示させる。

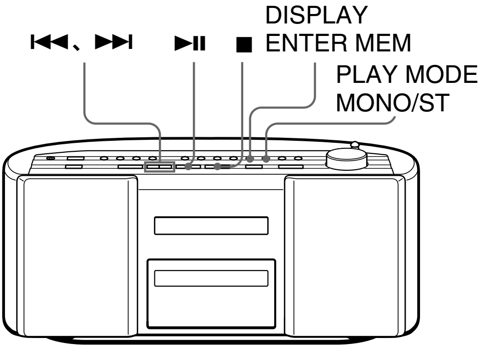
3 ▶IIボタンを押す。

シャッフル演奏をやめるには

PLAY MODE•MONO/STボタンを押して「SHUF」表示を消します。

聞きたい曲を好きな順に聞く（プログラム演奏）

聞きたい曲を好きな順に20曲まで
プログラムすることができます。



リモコンでは

1 ■を押す。
2 MODEボタンを押して「PGM」を表示させる。
3 聞きたい順に、曲番の数字ボタンを押していく。
4 ►を押す。

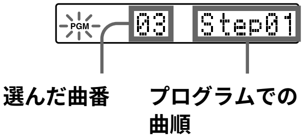
1 ■ボタンを押す。

「CD」が表示されます。

2 PLAY MODE•MONO/STボタンを押して「PGM」を表示させる。

3 ⏮または⏭ボタンを押して曲を選び、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押して決定する。

この操作を繰り返します。



4 ►IIボタンを押す。

ちょっと一言

プログラム演奏が終わっても、作ったプログラムはCDトレイを開けるまで残っています。►IIボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。

プログラム演奏をやめるには

PLAY MODE•MONO/STボタンを押して「PGM」表示を消します。

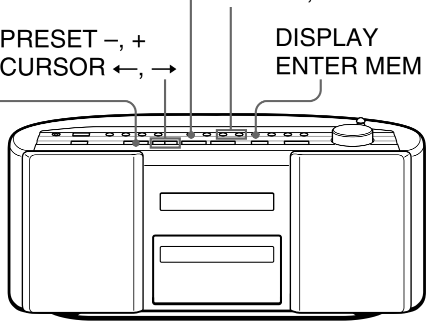
曲順を確認するには

停止中にDISPLAY•ENTER MEMボタンを押します。
ボタンを押すたびにプログラムした順で曲番号が表示されます。

プログラムを変更するには

停止中は■ボタンを1回、演奏中は2回押します。プログラムした曲が消えます。
初めからプログラムし直します。

放送局を記憶させる



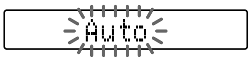
受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM1、FM2、AM各10局ずつ、合計30局まで記憶できます。
また、記憶させた放送局に名前をつけることもできます。

ちょっと一言

FM1またはFM2を選んで自動的に放送局を記憶させると、最初の10局がFM1に、さらに10局がFM2に記憶されます。

1 RADIO BAND•AUTO PRESETボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ。

2 「Auto」が点滅するまで、RADIO BAND•AUTO PRESETボタンを押したままにする。



3 DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。

プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局だけが自動的に記憶されます。

記憶させた放送局に名前をつけるには

1 RADIO BAND•AUTO PRESETボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ。
2 PRESET ＋または–ボタンを押して名前をつけたい局のプリセット番号を表示させる。
3 21ページの手順3〜7を行う。

リモコンでは

1 BANDボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ。
2 TUNE ＋または－ボタンを押して放送局を選ぶ。
3 記憶させたいプリセット番号の数字ボタンを約2秒間押したままにする。

入力できる文字

- **カタカナ**
  アイウエオ……ャュョッ
  ゛゜ ’, / : ␣（スペース）
- **アルファベット大文字**
  ABCD……WXYZ ’, / :
  ␣（スペース）
- **アルファベット小文字**
  abcd……wxyz ’, / :
  ␣（スペース）
- **数字・記号**
  0123456789!"#$%&()＊
  .;<=>?@_` ＋－ ’,/:
  ␣（スペース）

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させるには

1 RADIO BAND•AUTO PRESETボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ。
2 TUNE ＋または－ボタンを押して放送局を選ぶ。
3 プリセット番号が点滅するまでDISPLAY•ENTER MEMボタンを約2秒間押したままにする。
4 PRESET +または–ボタンを押して記憶させたいプリセット番号（1〜10）を選ぶ。
5 DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。
6 放送局名をつける（最大8文字まで）。
①TEXT +または–ボタンで文字を選ぶ。
②CURSOR →ボタンを押してカーソルを右に移動する。
①、②の操作を繰り返す。

以下のボタンも使えます。

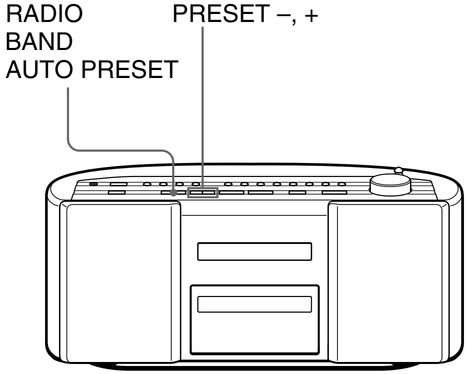
使うボタン	機能
CURSOR ←, →	カーソルを左右に移動する
CHARACTER	ボタンを押すたびに「カタカナ」→「アルファベット大文字」→「アルファベット小文字」→「数字•記号」と変わります。

7 DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。

ラジオ

記憶させた放送局を聞く
（プリセット選局）

本体のPRESET ＋､–ボタンやリモコンの数字ボタンで、あらかじめ記憶させておいた放送局を簡単に選ぶことができます。

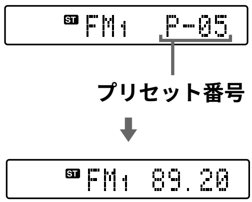


リモコンでは

1 BANDボタンを押して、FM1､FM2またはAMを選ぶ。
2 聞きたい局のプリセット番号の数字ボタンを押す。

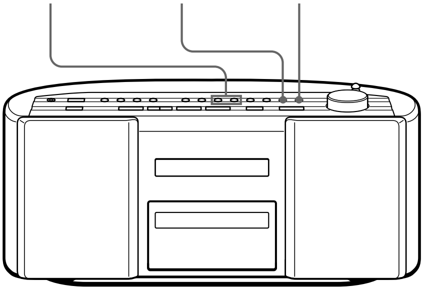
1 RADIO BAND•AUTO PRESETボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ。

2 PRESET +または–ボタンを押して聞きたい局のプリセット番号を表示させる。



好みの音質で聞く

音楽に合わせて重低音を強調したり、低音、高音を調節したりできます。



迫力ある重低音を楽しむ

MEGA BASSボタンを押す。
「MEGABASS」を表示させる。通常の音に戻すには、もう一度MEGA BASSボタンを押します。

リモコンでは

1 BASS/TREボタンを押して「BASS」(低音)または「TREBLE」(高音)を表示させる。
2 BASS/TRE +または–ボタンを押してレベルを調節する。

ご注意

調節した音は、大きな音で聞くと効果が出にくくなります。

低音/高音を調節する

1 **BASS/TREBLEボタンを押して「BASS」(低音)または「TREBLE」(高音)を表示させる。**

2 **TUNE•TIME SET +または–ボタンを押してレベルを調節する。**

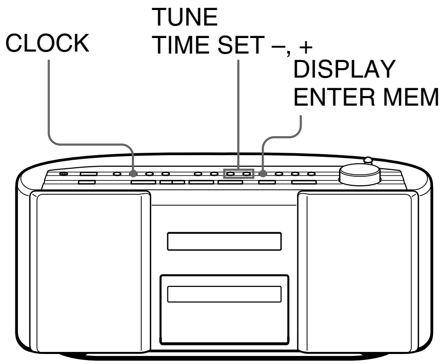
–5から+5の範囲で段階的に調節できます。



音質

手動で時計を合わせる

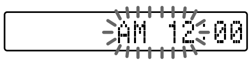
標準電波の受信状態がよくないときは、手動で時計合わせをします。その場合、電波時計機能は自動的に解除されます(8、9ページ参照)。



ちょっと一言

- 本機の時計は12時間表示です。
  真夜中 :「AM12:00」
  正午　 :「PM12:00」
- 秒まで正確に合わせるには、時報サービス(117番)をご利用になると便利です。

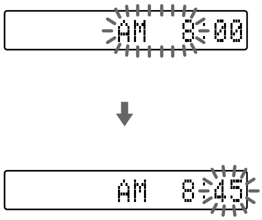
1 **「時」の表示が点滅するまで、CLOCKボタンを押したままにする。**



2 **時刻を合わせる。**

① TUNE•TIME SET +または–ボタンを押して「時」を合わせ、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。

② TUNE•TIME SET +または–ボタンを押して「分」を合わせる。



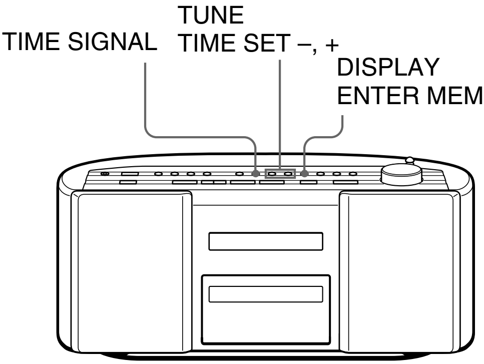
3 **DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。**



00秒から時計が動きます。

時報を鳴らす

本機の電源が入っていないときに、時報を鳴らすことができます。時報の音色を選ぶこともできます。
本機の時計合わせをしてから操作をしてください（8、24ページ参照）。



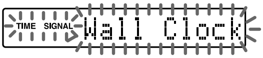
ちょっと一言

本機の電源が入っているときは、時報は鳴りません。

1 電源が入ってない状態で、TIME SIGNALボタンを押して「TIME SIGNAL」を表示させる。

このあと表示窓で確認しながら設定していきます。

表示窓の表示



2 TUNE•TIME SET ＋または–ボタンを押して聞きたい時報の音色を表示させ、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。

表示	時報の間隔
Wall Clock（柱時計）	正時にその時刻と同じ数だけ鳴り、30分には1回鳴る（例：午後3時に3回鳴り、午後3時30分に1回鳴る）。
Harp（ハープ）	正時に1回鳴る。
Music Box（オルゴール）	正時に1回鳴る。
Chime（チャイム）	正時に1回鳴る。
Organ（オルガン）	正時に1回鳴る。

次のページへつづく

タイマー

3 **TUNE•TIME SET +または–ボタンを押して希望の音量を表示させ、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。**

4 **TUNE•TIME SET +または–ボタンを押して時報の鳴る時間帯を表示させ、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。**

表示	時報の鳴る時間帯
Off	鳴らない。
Every Hour	1日中鳴る。
Auto	午前7時から午後10時の間に鳴る。
Once a Day*	1日1回鳴る。

* 手順2で「Wall Clock」を選んだ場合は、「Once a Day」は選べません。

5 **手順4で「Once a Day」を選んだ場合は、時報の鳴る時刻を設定する（手順4で他の表示を選んだ場合は、以下の操作をする必要はありません）。**

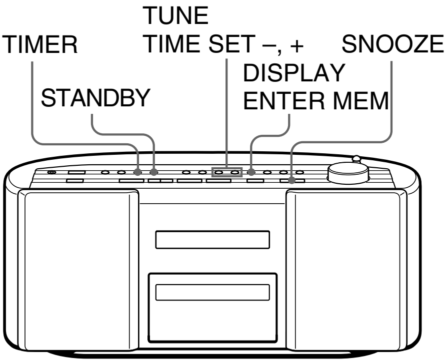
① TUNE•TIME SET +または–ボタンを押して「時」を合わせ、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。
② TUNE•TIME SET +または–ボタンを押して「分」を合わせ、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。

時報の音色を確かめるには（デモモード）

TIME SIGNALボタンを約2秒間押したままにします。5種類の音色を聞くことができます。

音楽で目覚める

好きな音楽や、ラジオ番組を目覚まし代わりにすることができます。
本機の時計合わせを行ってから操作してください(8、24ページ参照)。



ご注意

LINE IN端子につないだ機器の音を聞くときは、つないだ機器の取扱説明書もご覧ください。

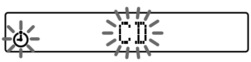
表示窓に⏻が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

1 聞きたい音源の準備をする。

音源	準備
CD	CDを入れる。
RADIO(ラジオ)	聞きたい局を受信する。
LINE(外部入力)	LINE IN端子につないだ機器の電源を入れる。

2 TIMERボタンを押して⏻を表示させる。

このあと表示窓で確認しながら設定していきます。

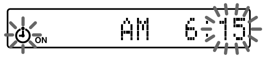


3 TUNE•TIME SET +または–ボタンを押して聞きたい音源(「CD」「RADIO」「LINE」)を表示させ、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。

次のページへつづく

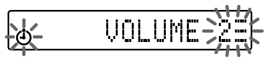
4　再生を始める時刻を設定する。

① TUNE•TIME SET +または–ボタンを押して「時」を合わせ、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。



② TUNE•TIME SET +または–ボタンを押して「分」を合わせ、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。

5　TUNE•TIME SET +または–ボタンを押して希望の音量を表示させ、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押す。



6　STANDBYボタンを押す。

⏲が表示され予約待機状態になります。設定した時刻になると自動的に再生が始まります。1時間たつと電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

ちょっと一言

- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを押して、表示窓の⏲を消します。
- 予約内容は別の設定をしない限り保持されます。

予約した内容を確かめたり、変更するには

TIMERボタンを押してから、DISPLAY•ENTER MEMボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させてそこから設定をやり直します。

予約したあとでラジオなどを聞くには

電源を入れれば、通常の操作ができます。（ラジオの場合27ページの手順1で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時刻には、別の局が始まります。）予約した時刻になる前に電源を切ります。

タイマー再生を途中で止めるには

POWERボタンを押して電源を切ります。

ちょっと一言

SNOOZE機能を使っているときは電源を入れるたびに音量が1段階ずつ上がります。

もう少し眠っていたいときは

SNOOZE（目覚まし繰り返し）ボタンを押します。
「Snooze」が表示され、いったん電源が切れます。約5分後に自動的に電源が入り、演奏が始まります。この操作は繰り返すことができます。

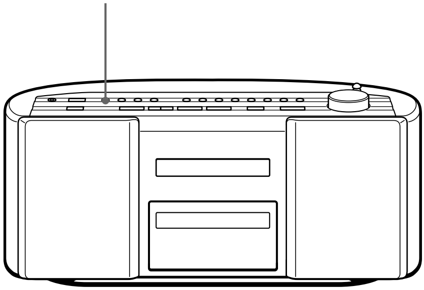
SNOOZE機能を解除するには

POWERボタンを押して電源を入れます。

タイマー

音楽を聞きながら眠る（スリープ機能）

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。



ちょっと一言

- スリープ機能が働いているときは、表示窓の照明が少し暗くなります。
- 目覚ましタイマーとスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましタイマーを予約待機状態にしてから（27ページ参照）、電源を入れスリープ機能を働かせます。
- 目覚ましタイマーとスリープ機能で違う音楽を聞くことができます。ただし、ラジオでは別の局を設定することはできません。
- 目覚ましタイマーとスリープ機能で違う音量を設定できます。たとえば、小さい音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。

1 聞きたい音楽の演奏を始める。

2 SLEEPボタンを押して、「SLEEP」を表示させる。

3 SLEEPボタンを押して時間（分）を選ぶ。

「60」→「90」→「120」→（表示なし）→「10」→「20」→「30」と変わります。



SLEEPボタンを押してから約4秒間そのままにすると、そのとき表示されている時間に設定されます。

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

スリープ機能を途中で止めるには

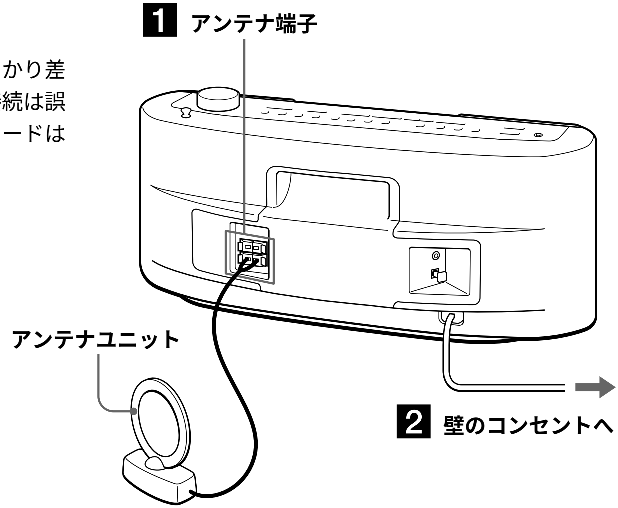
SLEEPボタンを押して、「SLEEP」を消します。

スリープ時間を変更するには

手順2からやり直してください。

接続する

コードは下の手順の通り、しっかり差し込んでください。間違った接続は誤動作の原因になります。電源コードは必ず最後に接続してください。



ご注意

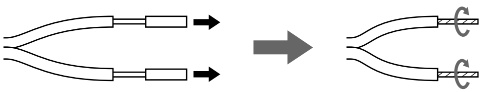
電源コードを抜いたりするときは、必ず電源を切ってください。

ご注意

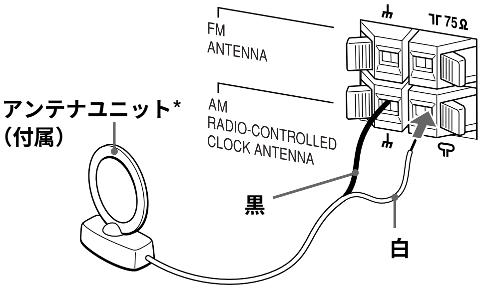
アンテナユニットはできるだけ本体から離してください。雑音の原因になります。

1 アンテナを接続する

1　アンテナユニットのコードの先の被覆を取り除き、導線部分をねじる。



2　黒の導線部分は⏚端子に、白の導線部分はƬ端子につなぐ。



* 受信状態の良い方向へ向ける（8、13ページ参照）

次のページへつづく

ちょっと一言

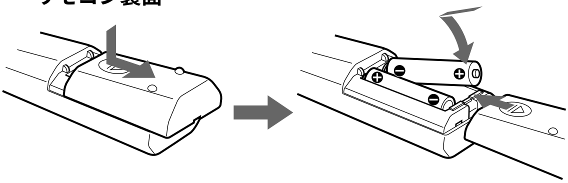
- スピーカー前面についているネットは取り替えられます。角を手前に引っ張るとはずれます。
  お好みにより、付属の別色のネットを取り付けてください。
- 電源コードの極性（コンセントにプラグを差し込む向き）により音質が微妙に変わることがあります。好みの向きでお使いください。

2 電源コードを接続する

電源コードのプラグを壁のコンセントへ差し込んでください。

3 リモコンに乾電池を入れる

リモコン裏面



単3形乾電池2個（付属）

乾電池の交換について

乾電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。ふつうの使いかたで約6か月もちます。

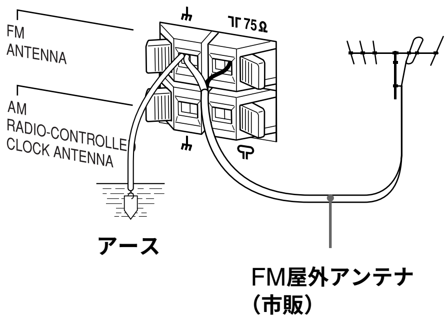
ご注意

屋外アンテナを立てたときは、雷による危険を防ぐために⏚表示のある端子にアースをつないでください。

市販のビニール線を⏚表示のある端子につなぎ、もう一方の端を銅製の金属棒につないで地中に埋めます。または鋼管製の水道管につなぎます。ガス管につなぐのは危険です。絶対にやめましょう。

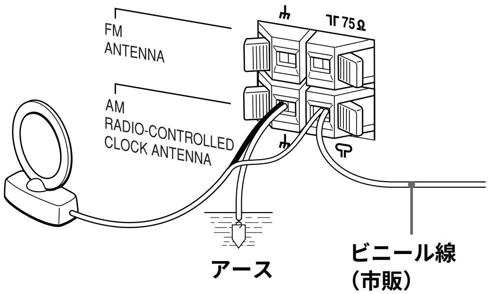
FM放送の受信状態を良くするには

FM屋外アンテナ（市販）をつなぎます。分配器を使えば、テレビアンテナでも代用できます。



AM放送の受信状態を良くするには

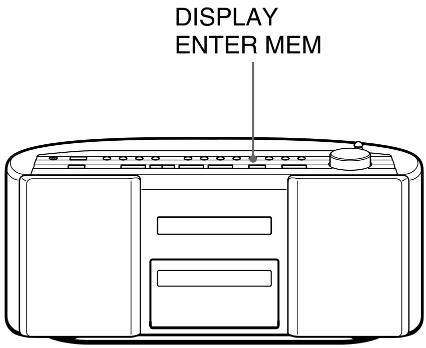
6〜15mのビニール線（市販）をつなぎます。窓際や屋外になるべく水平に張ると効果的です。付属のアンテナユニットをはずす必要はありません。



準備

低消費電力待機モードに切り換える

電源を切った状態でも、本機は時計表示、タイマー動作、リモコン受信のために通常約5.6Wの電力を消費しています。この消費電力を1W未満におさえ、電力を節約することができます（低消費電力待機モード）。



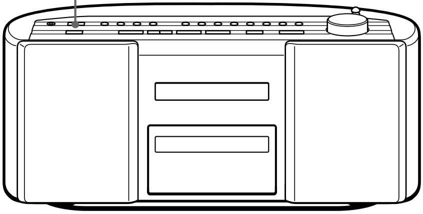
電源を切った状態でDISPLAY•ENTER MEMボタンを約2秒間押す。

低消費電力待機モードに切り換わり、表示窓の時計表示が消えます。

低消費電力待機モードをやめるには

時計を表示させたいときは、電源を切った状態でもう一度DISPLAY•ENTER MEMボタンを約2秒間押します。

他の機器をつないで使う



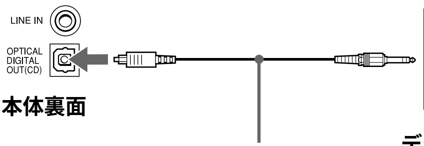
CDをMDに録音したり、ポータブルMDやテレビ、ビデオの音を本機のスピーカーで聞くことができます。
他の機器と接続するときは電源を切ってください。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

接続コードはしっかり差し込んでください。誤動作の原因になります。

CDをMDやDATに光デジタル出力で録音する

OPTICAL DIGITAL OUT (CD)端子へ



本体裏面

デジタル入力端子へ

デジタル接続ケーブル*
POC-5ABなど
(別売り)

* 相手側のデジタル入力端子の形状によって、接続ケーブルが異なります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。本機は角型光コネクターを採用しています。

接続する端子の形状	接続ケーブルの型名
光ミニプラグ (ポータブルMDなど)	POC-5AB、POC-10AB、POC-15ABなど
L型7ピンコネクター (ポータブルDATなど)	POC-DA12P
角型光コネクター (MD、DATデッキなど)	POC-10A、POC-15A

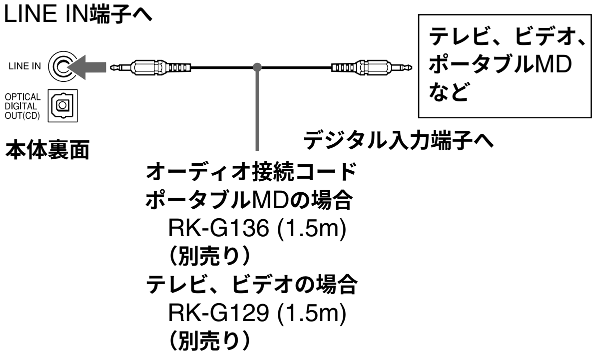
準備

ご注意

- 「CD」が表示されているとき、CDが停止状態でも光デジタル出力部は動作していますので、端子は光っています。
- CD-ROMなどの音楽用以外のディスクを演奏すると雑音が出ることがあります。

1 本機のOPTICAL DIGITAL OUT (CD)端子のキャップをはずす。別売りのデジタル接続ケーブルを、本機のOPTICAL DIGITAL OUT (CD)端子と接続する機器のデジタル入力端子につなぐ。
2 本機と接続した機器の電源を入れる。
3 接続した機器を録音待機状態にする。
4 本機でCDの再生を始める。

テレビやビデオ、ポータブルMDの音を聞く



1 別売りの接続コードを、本機のLINE IN端子とポータブルMDなどの接続する機器の出力端子につなぐ。
2 本機と接続した機器の電源を入れる。
3 本機のLINEボタンを押し、接続した機器の再生を始める。
接続した機器の音が本機のスピーカーから出ます。

使用上のご注意

取り扱いについて

- CDトレイを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気が変化して不具合がおきることがあります。
  — 時計
  — クレジットカードなどの磁気カード
  — カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

  また、本機をテレビの近くにはおかないでください。テレビの画像が乱れることがあります。

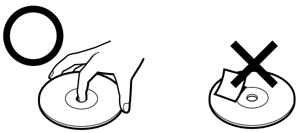
本体のお手入れのしかた

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、から拭きします。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

CDの取り扱いかた

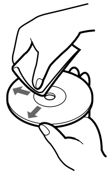
- 文字の書かれていない面(演奏面)に触れないように持ちます。
- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形、ハート型 、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは41ページに記載されているテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

	症状	チェック項目
共通	電源が入らない。	• POWERボタンを押して電源を入れる。 • 電源コードをコンセントにしっかり差し込む。
	音が出ない。	• 音量を調節する。 • スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを🎧ジャックから抜く。
	テレビに色むらが起こる。	• 本機をテレビから離す。
	雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している →携帯電話などを本機から離して使用する。
CD部	再生が始まらない。	• CDトレイが閉まっていることを確認する。
	CDが入っているのに「No Disc」が表示される。	• CDが裏返し。→文字のある面を上にする。 • CDの汚れがひどい。→クリーニングする。(37ページ) • レンズに露(水滴)がついている。 →CDを取り出してCDトレイを開けたまま1時間くらい置く。 • 本機ではCD-RWを再生できません。
	音がとぶ。 雑音が入る。	• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。 • CDの汚れがひどい。→クリーニングする。(37ページ) • CDに傷がある。→CDを取り換える。 • 振動のない場所に置く。 • パソコンなどで記録したCD(CD-Rなど)は、音がとんだり雑音が入ることがあります。
ラジオ部	FM受信時ステレオにならない。	• PLAY MODE•MONO/STボタンを押して、「Stereo」を表示させる。(13ページ) • ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。
	雑音が入る。	• FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。(13ページ) • テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。 • AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。 • このラジオ(チューナー)のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。

	症状	チェック項目
時計部	標準電波が受信できない。（表示窓で「⁖」が点滅せず、📶が点滅する。）	● アンテナユニットを正しくつなぐ。（31ページ） ● アンテナユニットの向きを変えて調整する。それでも受信できないときはアンテナユニットを窓のそばに置く。
タイマー部	タイマーが働かない。	● 時計を正しい時刻に合わせる。（8、24ページ） ● 停電があった。 ● ⏻表示が出ていることを確認する。
リモコン	リモコンで操作ができない。	● リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。（32ページ） ● リモコンを本体へ向けて操作する。 ● 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。 ● 本体リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっていたら、当たらないようにする。

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。上記のチェック項目を確認しても動作が正常でないときは、電源コードを抜いてください。SNOOZEボタンとCLOCK AUTO ADJUSTボタンを同時に押しながら、再び電源コードをつなぎます。それでもまだ正しく動かないときは、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご連絡ください。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウフラッター	測定限界以下（JEITA*）
周波数特性	20～20,000Hz+1/－2dB（JEITA）

ラジオ部

受信周波数	FM/TV:76～108MHz（1、2、3ＣＨ） AM: 531～1,629kHz
アンテナ	FM/TV: ロッドアンテナ AM: AMループアンテナ

共通部

入力端子	LINE IN（ステレオミニジャック）1個 最小入力レベル 250mV
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 16～68Ω OPTICAL DIGITAL OUT（CD）（光角型出力コネクター）1個 発光波長　630～690nm
実用最大出力	7.5W＋7.5W（JEITA*/4Ω）
スピーカー	フルレンジ:8cm、コーン型 4Ω、2個
電源	本体 家庭用電源（AC100V 50/60Hz） リモコン部 単3形乾電池　2個使用（DC3V）
消費電力	35W
最大外形寸法	約470×206.5×145.5mm（幅×高さ×奥行き） （最大突起部を含む）（JEITA）
質量	約5kg
付属品	リモコン (1) リモコン用単3形乾電池 (2) アンテナユニット (1) スピーカーネット (2) 取扱説明書・保証書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)

別売りアクセサリー

ステレオヘッドホン
　MDR-CD380、MDR-D55
　MDR-IF520RK

CDレンズクリーニングキット
　KK-91

オーディオ接続コード
　RK-G129、RK-G136

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として
「テクニカルインフォメーションセンター」
を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月〜金 9:00〜18:00
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

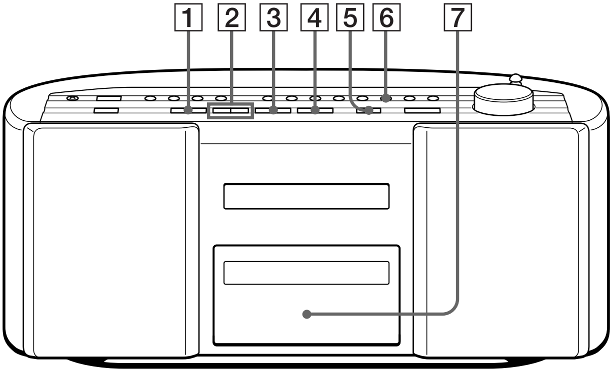
ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月

各部のなまえ

詳しい説明は（　）内のページをご覧ください。

前面：CD/ラジオ部



前面：CD/ラジオ部

1 RADIO BAND•AUTO PRESETボタン
(12、20、22)

2 PRESET –、+
⏮、⏭（AMS（選曲）/サーチ）
CURSOR ←、→（戻し、送り）ボタン
(15、20、21、22)

3 ►II（再生／一時停止）ボタン(10、11)

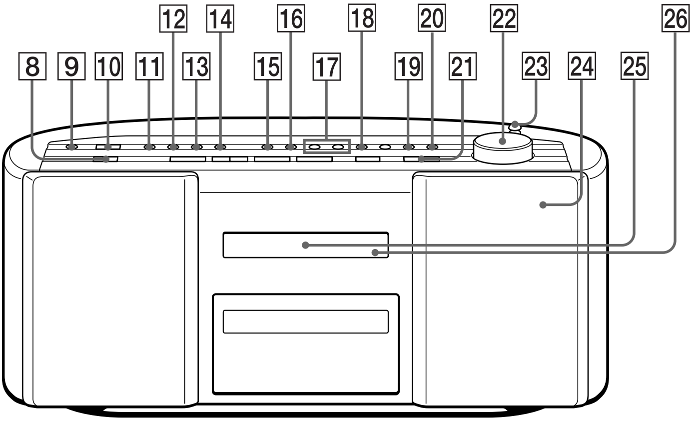
4 ■（停止）ボタン(11)

5 ⏏ CD OPEN/CLOSEボタン(10)

6 PLAY MODE•MONO/STボタン
(13、16~18)

7 CDトレイ(10)

本体前面：タイマー/共通部



本体前面：時計/タイマー/共通部

8 POWER(パワー)(電源)ボタン(11、13)

9 🎧(ヘッドホン）ジャック（ステレオミニジャック)

10 LINE(ライン)ボタン(36)

11 SLEEP(スリープ)ボタン(30)

12 CLOCK(クロック)ボタン(24)

13 TIMER(タイマー)ボタン(27)

14 STANDBY(スタンバイ)ボタン(28)

15 CLOCK(クロック) AUTO(オート) ADJUST(アジャスト)ボタン(8)

16 TIME(タイム) SIGNAL(シグナル)ボタン(25)

17 TUNE(チューン)•TIME(タイム) SET(セット) –、＋
TEXT(テキスト) –、+ボタン(12、21、27)

18 DISPLAY(ディスプレイ)（表示切り換え/低消費電力待機モード切り換え)•ENTER(エンター) MEM(メモリー)ボタン(14、18、24、27、34)

19 BASS(ベース)/TREBLE(トレブル)ボタン(23)

20 MEGA(メガ) BASS(ベース)ボタン(23)

21 SNOOZE(スヌーズ)（目覚まし繰り返し）ボタン(29)

22 VOLUME(ボリューム)(音量)つまみ(11、13)

23 FM/TV(テレビ)（1-3CH）用ロッドアンテナ(13)

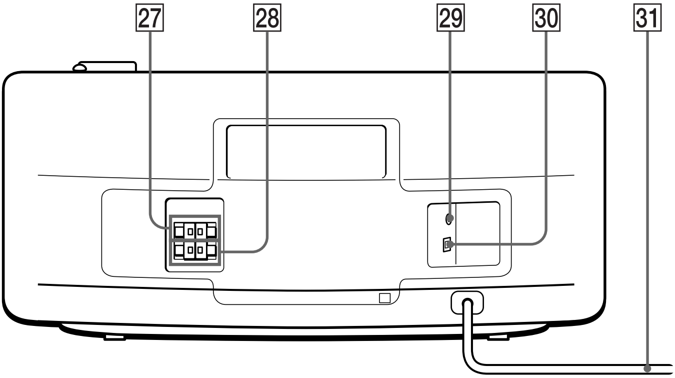
24 スピーカー

25 表示窓(14)

26 リモコン受光部

各部のなまえ（つづき）

本体後面



本体後面

27 FM ANTENNA端子(33)

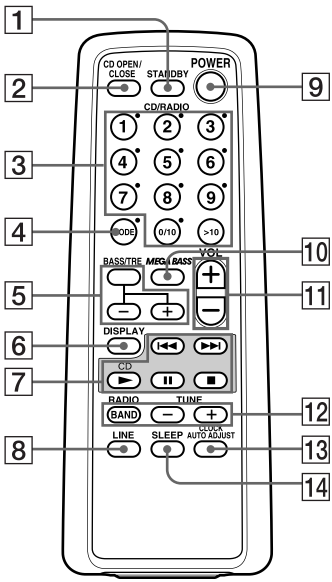
28 AM•RADIO-CONTROLLED CLOCK ANTENNA（AM•電波時計アンテナ）端子(31、33)

29 LINE IN（アナログ入力）端子(36)

30 OPTICAL DIGITAL OUT (CD)（光デジタル出力）端子(35)

31 電源コード(32)

リモコン



リモコン

1 STANDBY（スタンバイ）ボタン(28)

2 CD OPEN/CLOSE（オープン クローズ）ボタン(10)

3 数字ボタン(15、22)

4 MODE（モード）ボタン(13、16～18)

5 BASS/TRE（ベース トレブル）、ー、＋ボタン(23)

6 DISPLAY（ディスプレイ）（表示切り換え/低消費電力待機モード切り換え）ボタン(14、34)

7 CD操作ボタン

► （再生）(10)
❚❚ （一時停止）(11)
■ （停止）(11)
⏮、⏭ （AMS（選曲）/サーチ）ボタン(11、15)

8 LINE（ライン）ボタン(36)

9 POWER（パワー）（電源）ボタン(11、13)

10 MEGA BASS（メガ ベース）ボタン(23)

11 VOL（ボリューム）（音量）+、–ボタン(11、13)

12 RADIO（ラジオ）操作ボタン

BAND（バンド）(12、20、22)
TUNE（チューン）ー、＋(12)

13 CLOCK AUTO ADJUST（クロック オート アジャスト）ボタン(8)

14 SLEEP（スリープ）ボタン(30)

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ、ナ行

ハ行、マ、ヤ行

ラ行

アルファベット順

パーソナルオーディオシステム

ZS-2000

T10-1001A-1

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル 0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料金で
ご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでの
ご利用は………………03-5448-3311

● Fax……………………0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、
土・日・祝日 9:00～17:00

Printed in China